

2025年度水俣フォーラム 事業計画

総会開催時点では下記の事業を計画している。特に力を注ぐのは、2026 年の水俣病 70 年展開催準備である。会期が短いことから事前の告知が重要であり、より多くの会員会友を巻き込みながらの準備が必要である。また、展示物リニューアルと「水俣展全図録」の 70 年展までの制作も必須事項であり、今年度中に入稿直前までの編集を進める予定である。並行して、初となる熊本での記念講演会や水俣セミナー、コロナ禍で延期となっていた読書会や水俣への旅、チッソへの旅の催行、また「水俣フォーラム NEWS」の発行も着実に進め、会員会友に関心をもち続けてもらえるよう活動を展開する。

1. 水俣展

- ①水俣病 70 年展 2026 年の開催準備（11 月、渋谷ヒカリエホール）
- ②その他 2028 年仙台展の準備

2. 講演会開催（いずれもオンラインを併用）

- ①記念講演会 第 21 回の開催（4 月 26 日、くまもと森都心プラザ、666 人、うち来場 502 人）
- ② 70 年記念講演を含む催し（2026 年）の開催準備
- ③水俣セミナー 9 回開催、新宿常円寺、150 人規模（来場 50 人・オンライン視聴 100 人）

3. 機関誌発行

- ①水俣フォーラムNEWS 1 回発行、7 月、3 ～ 4 千部

4. 自主制作

- ①展示物の大型化、完全リニューアルの進行
- ②水俣展全図録の編集

5. インターネットによる発信

- ①各種 SNS での発信（催し案内）

6. その他の事業

- ①水俣病読書会（冬期、第 9 回）
- ②水俣への旅の催行（5 月、第 17 回、25 ～ 50 人）
- ③チッソへの旅の催行（10 月、第 2 回、40 人）
- ④水俣病ライブラリーの恒常的整理（書籍、映像、写真、音声）

7. 水俣病関連書籍の出版編集協力

- ①石牟礼道子エッセー集

8. 総会・理事会・運営委員会

- ①総会 6月、全会員（決算、予算、役員選任）
- ②理事会・運営委員会（理事会2～3回、合同運営委員会6～8回程度）

9. 事務所機能向上のための取り組み

- ①事務所の書棚とファイル棚の整理
- ②倉庫の整理と不要制作物・資料の廃棄、収蔵物のリスト化 秋期

10. 助成、補助金等

- ①環境再生保全機構地球環境基金助成金 490万円内定、3年計画の1年目
「水俣病70年の経験の若い世代・国外への普及啓発と継承のための活動」
- ②新規助成・補助金等申請の検討 西日本文化賞、熊本県水俣病70年事業補助金